

4月号

School Aid Japan Cambodia
スクール・エイド・ジャパン・カンボジア



Dream通信

2009.4.No.13

子どもたちの里帰り ～クメール正月に半年振りに家族と再会～



半年振りの帰省です。
車中では子どもたちも大興奮でした。



右下3人が園の子どもです。お母さん
(左上)が出迎えにきてくれました。

「夢追う子どもたちの家」では現在55人の子どもたちが生活をしています。4月のクメール正月と9月のお盆は、子どもたちの一時帰省の時期です。元気な姿を家族の方へ見てもらい、また職員から半年間の園での生活や学校の成績などを、家族へお知らせするためです。今年のクメール正月は4月14日から16日までで、クメール正月の期間は学校も2週間ほど休校となるため、園では子どもたちを9日から18日までの間、子どもたちを帰省させました。55人の子どもを全員送るため、2日間に分けて職員総出で子どもたちを家まで送りました。前日は家に帰ってからの注意事項（家族にきちんと挨拶をすること、歯ブラシを毎日すること、怪我に気をつけることなど）を伝えました。帰省当日は職員から家族の方に、日ごろの園での生活態度などについて報告をしました。子どもの母親のトイ・ピアップさん（写真右下）は「子どもたちが園で生活できて本当に嬉しい。お金に余裕がなく以前はごはんを食べさせるだけでとても大変でした。園では一日3回、ごはんがきちんと食べることができるので、とても安心しています。子どもたちには園でしっかりと勉強をして、将来は立派な人間になってほしいと思っています」と話をしてくれました。18日に全ての子どもが無事に園に戻ってきました。少しの間ホームシックになる子どももいましたが、現在は全員がまた元気に園での生活を送っています。



車が通ることができない道は途中から歩いて家に向かいます。



30分歩いて家に到着です。左側が祖父、右側が兄です。



お母さん（右）も子どもとの再会に笑顔がこぼれます。

～園のある場所ってどんなところ？～

「夢追う子どもたちの家」の住所は、カンボジア・ポーサット州・クラコー地区・アッロンタナウト町・ポピット村です。プノンペンからはタイにつながる国道5号線を北上して、車で約3時間かかります。5号線から舗装されていない道を車で5分ほど進んだ場所に園はあります。今回は園のあるクラコー地区について紹介をしたいと思います。

2008年カンボジア計画省統計局によるとカンボジアの総人口は1,338万人で、ポーサット州の人口は約40万人です。カンボジアには24の州がありますが、人口数では14番目の州になります。外務省資料によるとカンボジア国民の約7割は農業に従事しています。園のあるクラコー地区もどかな田園風景が広がり、ヤシの木も見ることができます。多くの家は木造で、ヤシの葉で建てた家に住んでいる家庭もあります。雨季の季節には家族総出で、一本一本手作業で苗を植えている光景が多く場所で見られます。農家によっては牛や鶏などを飼っている家もあり、牛追いをしながら、草を食べさせています。地区の各家庭には水道が整備されていないので、瓶に貯めた雨水や井戸の水を生活用水として使用しています。電気の使用は料金がかかるため、費用をおさえるためにバッテリーなどで発電を代用している家庭が多くあります。園から国道に出て車で5分ほど走ると、クラコー地区の中心部があります。銀行、警察署、市役所、ガソリンスタンド、ヘルスセンター、商店街や市場などが集まっています。クラコー市場には食材や洋服、日用雑貨などが売られていて、園の日常的な買い物はこの市場を利用しています。商店街には、写真店、文房具店、薬局などが軒を連ねています。ただ地区としては小規模なため、園で使用する事務所の機器類や備品など必要なものが手に入らないことがあり、その場合はプノンペンで職員が購入して園まで輸送をします。またこのクラコー市場から来るまで10分ほど東に走ると、東南アジア最大の湖、トンレサップ湖に行くことができます。住んでいる人たちは地区が小規模なため、皆が顔馴染みといった印象があります。市場や商店街などで働いている人たちと顔見知りになると日本人にも気軽に挨拶をしてくれれます。これといった大きな集会所や娯楽施設もないため、のんびりとした穏やかな町という印象です。



タイに繋がる国道5号線。
園への道には看板があります。



園の近所では木造で
できた家が多く見られます。



雨季の季節には農家の方が
苗を植える風景が見られます。



地元の人が多く利用する
クラコー市場。



市場には洋服や日用雑貨
などが売られています。



バスケット屋さん。プノンペン
へ行く時お世話になっています。



ヘルスセンター。当直医師が泊り
込み深夜でも対応してくれます。